

# ハッピーステンレスポスト

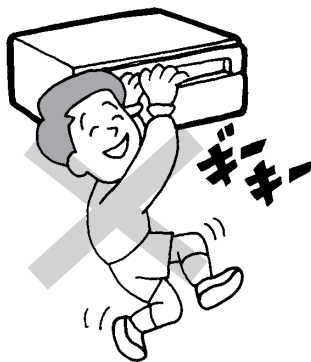
## COMPOS<sup>®</sup> シリーズ

### お客様保管用

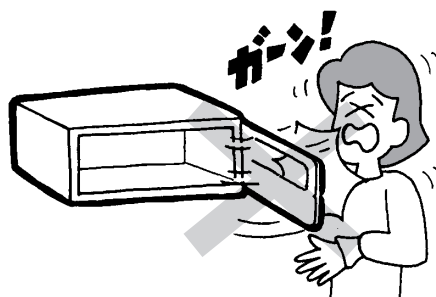
このたびはハッピーステンレスポスト「コンポスシリーズ」をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。  
コンポスシリーズを正しくお使いいただくために、次のような使用上のお願いを致します。  
この説明書は大切に保管してください。

#### ■ご使用上の「お取り扱い」についてのお願い

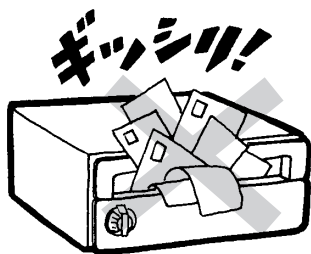
- ポストにぶら下がらないでください。



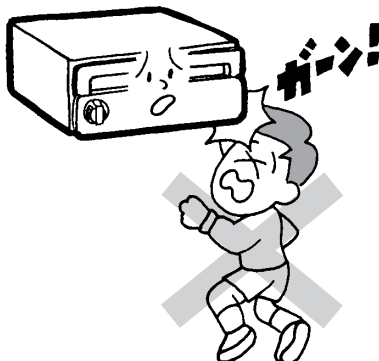
- 扉の開け放しはしないでください。



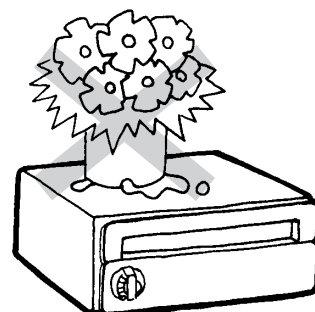
- すみやかに郵便物を取り出して  
ください。



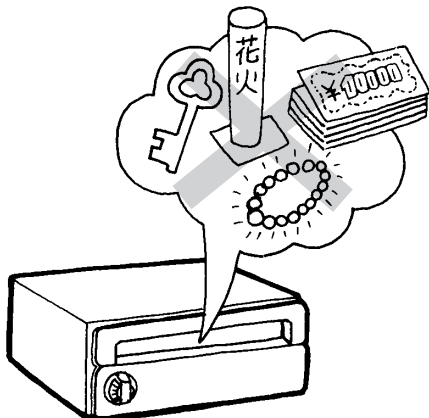
- ポストの下では遊ばないでください。



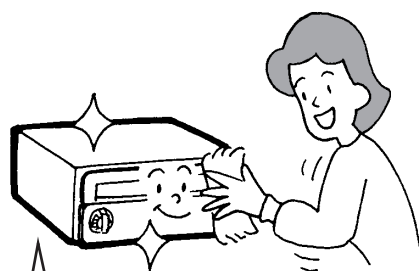
- ポストの上に物を載せないで  
ください。



- 貴重品・重要書類・危険物・生物等の保管は  
しないでください。



- 定期的にお手入れをしてください。



ステンレスはお手入れをおこたり、  
汚れを放置すると、もらいさびを  
起こします。

鍵つきポストご使用のお客様へ

※防犯上、施錠した状態でのご使用をおすすめします

より優れたステンレス金物を創造する。

**HSK<sup>®</sup> ハッピー金属工業株式会社**

問い合わせ先▶本社営業部/〒326-0846 栃木県足利市山下町903 TEL0284-62-2226 FAX0284-62-5020

# ハッピーステンレスポスト

## 定期的な「お手入れ」についてのお願い

### ■ステンレス(SUS304)スチールでも、さびることがある。

ステンレス(SUS304)スチールは、「絶対にさびない金属」ではありません。耐蝕性にすぐれた「さびにくい金属」なのです。

この「さびにくい金属」とは、素材の表面が空気中の酸素によって生成される薄くて緻密な「酸化皮膜」と呼ばれる保護膜で覆われ、外気を遮断してしまうからさびにくくなるのです。仮に、素材の表面に傷がついたとしても、「酸化皮膜」がすぐに再成され外気を遮断してしまうからさびにくいのです。

しかし、素材の表面に付着した「ほこり・煤煙のすす(カーボン)・鉄粉など」をそのまま放置しておくとう着物によって「酸化皮膜」ができにくくなってしまいます。

このような場合に適切な清掃をして、付着物を取り除いていただければ、「酸化皮膜」はすぐに再生されます。例えば、家庭やレストランの洋食器や流し台などに付着した汚れは、使用後常に洗浄されるので、さびることなく、いつもきれいで、光沢のある状態を保っているわけです。

ステンレス(SUS304)スチールにおける「さび」の原因の大部分は、「鉄粉・煤煙のすす・塵埃」の付着によるものですが、これらの付着物は、「酸化皮膜」の再生を妨げるばかりか、「空気中の亜硫酸ガス・雨水・潮風の塩分など」を呼び寄せ、腐蝕環境を作りだす働きもしてしまいます。

いつまでも美しい外観を保持するために、「さび」の原因となる付着物を、ステンレス(SUS304)スチールの表面から、できるだけ早く取り除いてくださるようお願い致します。

### ■ハッピーステンレス(SUS304)ポストのお手入れについて

ハッピーステンレスポストを清掃する場合は、汚れの原因や付着物の状態をよく確認してから行ってください。表面の仕上げ方によって、清掃の仕方や洗浄剤の選定方法が異なりますのでご注意ください。

#### ●ヘアライン仕上げの清掃方法

##### ○普通の汚れの場合

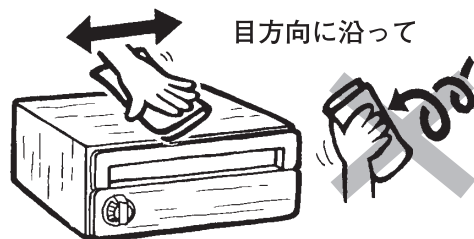
- ①柔らかい布に水を湿してヘアラインの目方向に沿って軽く拭きとってください。

##### ○汚れのひどい場合

- ①柔らかい布に水溶性の中性洗剤をつけ、ヘアラインの目方向に沿って軽く拭きとってください。
- ②水洗いして中性洗剤を洗い流してください。
- ③乾いた柔らかい布で水分を完全に拭きとってください。

##### ◎注意していただきたいこと!

- ①円を描くような拭き方は、表面の光沢やヘアラインをくずし、汚れも落ちにくくなります。
- ②金属タワシや砂入りの洗剤でのお手入れは、傷の原因になりますので絶対に避けてください。



#### ●塗装(保護処理)仕上げの清掃方法

ダイカスト製の扉の仕上げやステンレス製の扉の仕上げには、塗装処理を施して有ります。この部分の清掃の仕方は、次のとおりです。

##### ○普通の汚れの場合

- ①柔らかい布に水を湿して軽く拭きとって下さい。

##### ○汚れのひどい場合

- ①柔らかい布に水溶性の中性洗剤をつけて軽く拭きとってください。
- ②水洗いして中性洗剤を洗い流してください。
- ③乾いた柔らかい布で水分を完全に拭きとってください。

##### ◎注意していただきたいこと!

- ①金属タワシや砂入りの洗剤でのお手入れは、傷やはく離の原因になりますので絶対に避けてください。
- ②付着した油脂類を拭きとるときは、シンナーやベンジンなどを使用しないでください。塗装(保護処理)の色調をみだします。
- ③酸性やアルカリ性の洗剤(塩酸・硝酸・タイル洗浄剤・苛性ソーダなど)を使用した清掃はおやめください。塗装(保護処理)面が変色を起こすことがあります。

